

千葉大学医学部附属病院で入院にて食道静脈瘤結紮術の 治療を受けられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年7月15日

消化器内科

消化器内科では、しよくどうじょうみやくりゅうけっさつじゆつ食道静脈瘤結紮術に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2022年4月1日～2025年3月31日の間に食道静脈瘤結紮術を受けた方

1. 研究課題名

「外来診療のみで完遂する食道静脈瘤結紮術の有効性・安全性に関する観察研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、食道静脈瘤に対するしよくどうじょうみやくりゅうけっさつじゆつ食道静脈瘤結紮術を外来(日帰り)で行う際の治療効果や安全性を確認することを目的としています。食道静脈瘤結紮術は食道静脈瘤の治療法のひとつで、ゴムバンドで静脈瘤を縛り、治療する方法です。従来は当院では入院で治療をしておりましたが、外来(日帰り)での治療を検討しており、治療効果や安全性を比較するために、入院で治療を受けた方の情報を必要としております。

そこで、2022年4月1日～2025年3月31日の間に食道静脈瘤結紮術を受けられた方を対象に2025年6月30日までの診療録に記載されている情報を収集します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療情報：診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、腹部超音波検査・CT検査・MRI検査・カテーテル検査などの各種画像検査の検査結果、内視鏡治療やカテーテル治療などの治療方法・結果

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 助教 中本晋吾

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

消化器内科 医員 藤本健太郎

043（222）7171 内線72021